

令和3年度 青梅市立第七小学校 学校評価シート

＜学校経営方針の重点＞	1 確かな学力の育成	2 豊かな心の育成	3 健やかな体の育成
	4 家庭や地域との連携	5 特色ある教育活動の推進	

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	学校関係者評価記入欄		学校の見解と今後の方向性
							評価	コメント	
確かな学力の向上	「自ら考え、みんなで学ぶ子供の育成」の実現に向けて、確かな学力の向上を図る。	国語科・算数科を中心に、付けた力をもとに分かる・できる・楽しいを実感し、共に学び高め合う児童の育成を図る。	問題解決的な学習を重視し、めあて・振り返りのある授業を通じて学習意欲の喚起を図る。	B	めあて達成に向け、意欲的に取り組めた	1時間の中で、振り返りの場を確実に作る	B	今後も、授業の充実、学力の向上を	校内研究を軸に授業力向上
			言語活動の充実や読書活動の推進を基盤に、基礎的・基本的な事項の習熟を図る。	B	学校司書を中心に、読書活動の推進を図った	さわやかタイムを読書に充てる工夫をする	A	読書活動や基礎学習の徹底の継続を	読書活動のさらなる充実
			互いに学び合う学習活動の充実と対話のある授業により、考える力、表す力の育成を図る。	C	学び合いの意識は、定着しつつある	タブレットPCを活用するなどの工夫をする	A	考える力、表す力を伸ばす工夫を	考え、伝える力の育成
豊かな心の育成	相手を尊重する態度を育み豊かな心の育成を図る。	よさに着目し、よさを認め励ますことを通じて、共に高め合える関係の構築を図る。	気持ちのよい挨拶や言葉遣いの啓発、いじめをなくす取組を通じて、人権教育の推進を図る。	B	表情が見えないが、挨拶は概ねできている	よさを認め、励ますことを重点にしている	A	気持ち良い挨拶ができています	挨拶の大切さを継続指導
			たてわり班活動や交流活動の充実をもとに、思いやりや尽くす心の育成を図る。	A	たてわり活動を通し、心の成長が感じられた	安全面等からたてわり清掃箇所を再考する	A	少人数の中での工夫が感じられた	活動を工夫し充実を図る
健やかな体の育成	安全・安心な環境を作り、健やかな体の育成を図る。	健康の増進と体力の向上を推進し、自分の命は自分で守ろうとする態度の育成を図る。	日常的な体づくりの取組を通じて、健康の増進と体力の向上を推進する。	C	体力向上への意識はあったが、日常化に課題	日常化を図るための、体力カードの作成	A	コロナ禍の中、よく取り組んでいる	日常的な体づくりをめざす
			安全指導や避難訓練・安全教室の充実と徹底を通じて、命を守る教育の推進を図る。	B	避難訓練等を通し、防災意識向上を図った	今後も、命を守る教育を継続していく	A	避難訓練等、安全指導の充実を	コロナ禍での実施案を検討
家庭や地域との連携	家庭や地域との連携を推進し、家庭や地域の一員としての自覚や態度を高める。	地域と心がかよう学校づくりに向けて、家庭と連携して、地域を愛し、地域づくりに関心のある児童の育成を図る。	地域に根ざした教育を充実させ、地域を大切にす児童の育成を図る。	B	昨年度よりも、外部講師等の招聘が行えた	新たな人材情報を、データベース化する	A	多彩な取組が見られ、今後も継続を	地域との連携を今後も図る
			あらゆる機会を通じて、地域に開かれた学校づくりの推進を図る。	C	参観者数を制限しての行事等の開催となった	ガイドラインに即し、臨機応変に対応する	A	コロナ前と同様の交流の維持を	学校便り等で情報提供
			家庭と連携して、よりよい学習習慣の定着を図る。	B	おおよそ、学習習慣の定着を図れた	タブレットPCのさらなる活用方法を模索する	A	タブレットPCのさらなる活用を	家庭と学習面での連携継続
特色ある教育活動の推進	個に応じた指導体制の充実を図る。 小中一貫教育等の推進を図る。	教育相談体制や特別支援教育の充実を図る。 小規模校同士による連携を推進する。	児童一人一人の実態について情報連携を図るとともに、校内委員会を通じて組織的に対応する。	C	SCの活用等、より組織的な対応が必要	学校便り等に、SCの活用情報を掲載する	A	相談体制についての情報提供を	定期的に情報提供をする
			行事や授業の連携を通じて、第六中学校や成木小学校との交流活動を推進する。	C	オンラインを活用し、交流を図った	オンラインを含め、交流活動を継続する	B	六中との連携強化を、地域会合でも	CSに向け、さらなる連携

\*評価：A（あてはまる） B（どちらかといえばあてはまる） C（どちらかといえばあてはまらない） D（あてはまらない）